※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０３

令和５年度　公民科

教科	公民科	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「公共」　（東京書籍）						
副教材等	ニュービジョン　公共　（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

公共は生きた科目です。
現実社会では、予想が難しいことや、議論となっていること、矛盾があることなど諸課題がたくさん存在しています。その中で、人々がよりよい社会を作るための発見、あるいは作り上げていくための思考力を養っていきます。

2　学習の到達目標

・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権をになう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	第1部「公共」のとびら 第１章　公共的な空間をつくる私たち―社会のなかの自己 (1)現代社会に生きる青年 (2)社会的な関係のなかで生きる人間	1 青年期と自己形成の課題 2 自己形成と社会への参画 1　個人として尊重される人間 2 社会的な存在としての人間 3 伝統･文化のなかの人間	a: 青年期の特徴と自己形成の課題，個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について理解している。 b: 青年期の特徴と自己形成の課題，個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について，多面的･多角的に考察し，表現している。 c: 青年期の特徴と自己形成の課題，個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について，自分自身の課題としても捉え，主体的に追究している。	定期考査	定期考査 レポート課題 ワークシート	レポート課題 振り返りシート
	第２章　公共的な空間における人間としての在り方生き方―共に生きるための倫理	1 功利主義と幸福の原理 2 義務論と公正の原理	a:現代の諸課題について判断し選択する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方について理解している。 b: 現代の諸課題について判断し選択する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方を活用して，生命倫理や環境倫理について多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 功利主義や義務論などの考え方を活用して，現代の諸課題について主体的に追究している。			
	第３章　公共的な空間における基本的原理―私たちの民主的な社会	1　公共的な空間における協働とは 2　民主主義とは 3　立憲主義とは	a: 公共的な空間における基本的原理である民主主義，法の支配と立憲主義，人間の尊厳と平等などの意義について理解している。 b: 公共的な空間における基本的原理である民主主義，法の支配と立憲主義，人間の尊厳と平等などの意義とそ			

※令和４年度以降入学生用

		４　人権保障の意義と展開	れらを実現する上での課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：公共的な空間における基本的原理である，民主主義，法の支配と立憲主義，人間の尊厳と平等などの意義とそれらを実現する上での課題について，主体的に追究している。			

※令和４年度以降入学生用

	第２部　自立した主体として社会に参画する私たち 第１章　民主政治と私たち	１　私たちの民主政治 ２　地方自治のしくみと役割 ３　国会のしくみと役割 ４　内閣のしくみと役割 5 政治参加と選挙 6 政党と利益集団 7 メディアと世論	a：政治と民主主義，地方自治及び国会，内閣のしくみと役割，政治参加と選挙，政党と利益集団，メディアと世論について，民主政治の実現の観点から理解している。 b：政治と民主主義，地方自治及び国会，内閣のしくみと役割，政治参加と選挙，政党と利益集団，メディアと世論，政治のしくみや運用にかかわる課題について，民主政治の実現の観点から多面的・多角的に考察し，表現している。 c：政治と民主主義，地方自治及び国会，内閣のしくみと役割，政治参加と選挙，政党と利益集団，メディアと世論，政治のしくみや運用にかかわる課題について，民主政治の実現の観点から主体的に追究している。			
	第２章　法の働きと私たち	1 法と社会規範の役割 2 法の成立と適用 3 市民生活と法 4 多様な契約 5 消費者の権利と責任 6 司法のしくみと役割 7 刑事司法と司法参加の意義	a：法や規範の意義と役割，法の成立と適用，市民生活における法と契約，消費者の権利と責任，司法のしくみと司法参加の意義などについて，理解している。 b：法や規範の意義と役割，法の成立と適用，市民生活における法と契約、消費者の権利と責任，司法のしくみと司法参加の意義などについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：法や規範の意義と役割，法の成立と適用，市民生活における法と契約。消費者の権利と責任，司法のしくみと司法参加の意義などについて，主体的に追究している。			

※令和４年度以降入学生用

2	第３章　経済社会で生きる私たち	1　私たちと経済 2　市場経済のしくみ 3　国民所得と経済成長 4　金融のしくみと働き 5　中央銀行の役割と金融環境の変化 6　財政の働き 7　財政の課題 8　社会保障の考え方 9　社会保障の課題とこれから	a：経済活動の意義，経済循環，市場経済のしくみと政府の役割，国民所得と経済成長，金融のしくみと働き，中央銀行の役割と金融環境の変化，財政の働きと課題，社会保障の考え方と課題について理解している。 b：経済活動の意義，経済循環，市場経済のしくみと政府の役割，国民所得と経済成長，金融のしくみと働き，中央銀行の役割と金融環境の変化，財政の働きと課題，社会保障の考え方と課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：経済活動の意義，経済循環，市場経済のしくみと政府の役割，国民所得と経済成長，金融のしくみと働き，中央銀行の役割と金融環境の変化，財政の働きと課題，社会保障の考え方と課題について，主体的に追究している。	定期考査	定期考査 レポート課題 ワークシート	レポート課題 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	第４章　私たちの職業生活	1　働くということ 2　多様な職業選択 3　労働者の権利 4　現代の雇用･労働問題	a:　働くことの意義，産業社会の発達と職業の変化，労働市場の役割，職業選択のポイント，多様化するキャリアの選択とキャリア形成の課題，資本主義社会における労働契約，労働者の権利と労働三法，雇用環境の変化と現代の労働問題などについて，理解している。 b:　働くことの意義，産業社会の発達と職業の変化，労働市場の役割，職業選択のポイント，多様化するキャリアの選択とキャリア形成の課題，資本主義社会における労働契約，労働者の権利と労働三法，雇用環境の変化と現代の労働問題などについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:　働くことの意義，産業社会の発達と職業の変化，労働市場の役割，職業選択のポイント，多様化するキャリアの選択とキャリア形成の課題，資本主義社会における労働契約，労働者の権利と労働三法，雇用環境の変化と現代の労働問題などについて，主体的に追究している。			
3	第５章　国際社会のなかで生きる私たち	1　国際社会の成り立ち 2　国際連合の役割 3　日本の平和主義と冷戦 4　冷戦後の世界と日本 5　現代の紛争とその影響	a:　国際社会の成り立ち，国際連合の役割，日本の平和主義と冷戦，冷戦後の日本，現代の紛争とその影響，国際平和に向けた課題，貿易のしくみ，国際金融のしくみと動向，グローバル化と国際経済，国際経済の諸課題について理解している。 b:　国際社会の成り立ち，国際連合の役割，日本の平和主義と冷戦，冷戦後	定期考査	定期考査 レポート課題 ワークシ	レポート課題 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		6　平和な国際社会に向けて 7　貿易のしくみ 8　国際金融のしくみと動向 9　グローバル化と今日の国際経済 10　国際経済の諸課題	の日本，現代の紛争とその影響，国際平和に向けた課題，貿易のしくみ，国際金融のしくみと動向，グローバル化と国際経済，国際経済の諸課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：国際社会の成り立ち，国際連合の役割，日本の平和主義と冷戦，冷戦後の日本，現代の紛争とその影響，国際平和に向けた課題，貿易のしくみ，国際金融のしくみと動向，グローバル化と国際経済，国際経済の諸課題について，主体的に追究している。		ート	
	第３部　持続可能な社会づくりに参画するために	1　探究のイメージをつかもう 2　探究プロセス	a：課題解決に必要な事項を理解している。また，第１部・第２部で学習した知識と関連付けている。 b：課題解決に向けて必要な資料や情報を収集し，分析したり考察したり判断したりしている。得られた結果や自らの主張を，論拠を明確にして説明したり表現したりしている。 c：探究のための学習計画をふまえて，探究活動の進行を自らふり返り調整しながら，解決に向けて主体的に取り組んでいる。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度